

公益財団法人横須賀芸術文化財団
平成 27 年度第 2 回理事会
議 事 録

- 1 開催日時** 平成 27 年 6 月 15 日（月）12 時 30 分から 13 時 50 分まで
- 2 開催場所** 横須賀市産業交流プラザ 特別会議室
- 3 出席者** 理事総数 6 名
出席理事 5 名（代表理事・理事長を含む。）
小沢一彦（理事長）、木村忠昭（副理事長）、
原田恵次（常務理事）、竹内英樹、渡辺晴夫
監事総数 2 名
出席監事 2 名
伊藤智則、山寄進康
- 4 議長** 小沢一彦（代表理事・理事長）
- 5 決議及び承認事項**
- 議案第 3 号 平成 26 年度事業報告及び決算（案）について
- 議案第 4 号 平成 27 年度補正予算について
- 議案第 5 号 役員及び評議員の任期満了に伴う次期候補者の選定について
- 議案第 6 号 定時評議員会の招集について
- 議案第 7 号 インターネットチケット販売規約の廃止について
- 6 報告事項**
- ・平成 27 年 3 月 1 日以降の職務の執行状況について
 - ・「第 16 回世界オペラ歌唱コンクール『新しい声 2015』オーディション in YOKOSUKA」の開催結果について
 - ・「ジャック・ランスロ国際クラリネット・コンクール Japan」次回開催について
- 7 議事の経過概要及びその結果**
- 定刻に小沢理事長が議長席に着き、天沼業務部長が開会を宣言。
定款第 33 条第 1 項の規定に基づき、小沢理事長を議長に選出。
小沢理事長が、定款第 34 条に規定する定足数を満たしていることを確認し、本理事会が有効に成立した旨を宣言。
併せて、定款第 37 条第 2 項に基づき、小沢理事長、木村副理事長、伊藤監事及び山寄監事を議事録署名人に指名した。
小沢理事長が各議案を上程し、事務局に説明を指示し、議案の審議に入った。
- (1) 議案第 3 号 平成 26 年度事業報告及び決算（案）について**
- 大倉事業課長（事業報告）及び柳田管理課長（決算）が詳細を説明。
説明によると、平成 26 年度は、横須賀芸術劇場と横須賀市立ベイスクエア・パークの新たな指定管理期間 8 年間の 1 年目にあたるとともに、開館 20 周年という記念すべき年であり、周年事業を加え、横須賀の芸術文化の創造及び発展並びに文化的

な潤いのある地域社会の実現のため、各事業に取り組んだ。自主公演事業については多様なジャンルの公演を鑑賞できる環境を整え、周年記念事業としても一流の舞台芸術を多数提供し、より多くの人々が舞台芸術に親しめるよう、自主公演 39 公演へ市民 2,847 名を無料で招待した。育成事業については、若手演奏家の育成のため、新規に器楽の国際コンクールを共同開催し強化を図ったほか、劇場専属合唱団の運営などを通じ、市民の文化活動への参加を促進した。施設管理事業については、情報提供と営業活動により利用促進を図り、また、修繕による使用環境の改善と適格なサービスにより、より利用しやすい施設の維持に努めた。その他事業全般において、地域に親しまれる劇場として地域の活性化及び芸術文化の振興に寄与した。なお、平成 27 年 3 月には、横須賀芸術劇場の公演来場者数が 500 万人を達成した。

決算額については、収入、支出ともに対予算現額で減額となったため、全体として収支差が抑制され、かつ適正な公益目的事業比率を確保した。また、周年記念事業の実施に伴う公演経費の増額に備え、舞台・音楽芸術普及特定資産の一部取崩しを行うなど財源確保に努めた。

次に、小沢理事長の求めに応じ監査報告があり、理事の職務の執行について監査した結果、事業報告は法令及び定款に従い法人の状況を正しく示していること、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められないこと、内部管理体制の整備に関する理事会決議及びその体制下の理事の職務の執行が相当であること、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示していることが報告された。

本議案に関連し、次の質疑応答があった。

- ・竹内理事：友の会会員数は、どのような傾向にあるか。
- ・大倉事業課長：会員数は年々減少しているが、リピーターが増えているため、全体のチケット販売における会員の購入比率は下がっていない。横須賀市在住の会員は約半数で、近年は横浜市南部をはじめとする京急沿線エリアが増加傾向にある。
- ・小沢理事長：新たな会員組織では、年会費の見直しのほか、会員であることによりメリットを感じていただけるようにしたい。従来の入会方法は特定のクレジットカードを作るというものであり、それが会員数の伸び悩みに繋がっていた。新組織の発足に際しては、旧会員に是非継続入会していただき、今の会員数は保持したい。
- ・小沢理事長：平成 26 年度は周年記念事業を実施したが、総括したい。
- ・柳田管理課長：決算面では、収支差額を約 1,300 万円縮小させることが出来たが、収入面では厳しい結果となった。
- ・天沼業務部長：周年記念事業については、公演数を増加させたことが鑑賞機会の分散を生み、市民無料招待の実施と相まって、収入減として表われた。新組織の発足に伴い新たな客層を獲得できるよう魅力ある運営に努めてい

きたい。

- ・小沢理事長：特に市民無料招待については、将来に向けた投資的要素もあった。今後、増収とレベルアップを図る必要がある。
- ・原田常務理事：施設管理面では、劇場案内看板を2ヵ所設置するなど、横須賀市への寄附も行った。今後もお客様をお迎えする環境整備に努めていきたい。

以上、小沢理事長が諮った結果、出席理事全員一致をもって原案のとおり承認された。

(2) 議案第4号 平成27年度補正予算について

柳田管理課長が詳細を説明。

議案第3号により平成26年度決算(案)が承認されたため、決算確定前に承認された平成27年度予算の前期繰越収支差額を平成26年度決算(案)の次期繰越収支差額と一致させる必要があり、補正資金収支予算を編成したい旨説明。

理事から質疑がなされなかったことから、小沢理事長が諮った結果、出席理事全員異議なくこれを可決した。

(3) 議案第5号 役員及び評議員の任期満了に伴う次期候補者の選定について

大倉事業課長が詳細を説明。

現在の役員及び評議員は、次回の定時評議員会の終了をもって任期満了を迎える。理事として小澤一彦氏、木村忠昭氏、齋藤道子氏、原田恵次氏、竹内英樹氏、渡辺晴夫氏の6名、監事として伊藤智則氏、山寄進康氏の2名、評議員として上田滋氏、上条浩氏、菊池匡文氏、下里矩生氏、長澤典子氏の5名を次期候補者としてそれぞれ選出し、評議員会に推薦したい旨説明。なお、岡朋子評議員については、任期満了を機に退任したい旨申し出があり、後任を長澤氏とする旨補足説明。

- ・小沢理事長：理事及び監事の任期は、最長2年間となる。引き続きお願いしたい。

以上、小沢理事長が諮った結果、出席理事全員一致をもって原案のとおり承認された。

(4) 議案第6号 定時評議員会の招集について

大倉事業課長が詳細を説明。

- ・用件 平成27年度第2回評議員会
- ・日時 平成27年6月30日(火)10時30分から
- ・場所 横須賀芸術劇場 大劇場 楽屋8
- ・目的である事項
 - (1) 議案審議
 - ・平成26年度事業報告及び決算について
 - ・役員及び評議員の任期満了に伴う選任について
 - (2) その他報告事項

理事から質疑がなされなかったことから、小沢理事長が諮った結果、出席理事全員異議なくこれを可決した。

(5) 議案第7号 インターネットチケット販売規約の廃止について

大倉事業課長が詳細を説明。

チケット予約システムの刷新と劇場友の会のリニューアルにあたり、現行のインターネットチケット販売利用規約は平成27年6月30日限りで廃止したい旨説明。また、これに代わる新たな取決めは、運用基準として理事長決裁にて対応したい旨補足説明。

理事から質疑がなされなかったことから、小沢理事長が諮った結果、出席理事全員異議なくこれを可決した。

(6) 報告事項

・平成27年3月1日以降の職務の執行状況について

天沼業務部長が報告。

芸術劇場指定管理業務に係る横須賀市宛て月次及び年次報告を行ったことなどを報告。特に、周年記念事業及び市民無料招待については、横須賀市からも高評価を受けた旨報告された。

・「第16回世界オペラ歌唱コンクール『新しい声2015』オーディション in YOKOSUKA」の開催結果について

天沼業務部長が報告。

説明によると、平成27年5月7日及び8日の2日間でオーディションを開催した。日本、韓国等から82名の応募があり、77名が出場した。前回のオーディションで横須賀から選出された韓国人歌手が本選で優勝したこともあり、前回の倍以上の韓国人歌手が出場した。結果は、日本人歌手と韓国人歌手のそれぞれ2名が本選出場者として選出された。

また、開催に先立ち、4月29日に歴代の優勝者や出場者を招いたオペラ・ガラ・コンサートを開催した。多くの聴衆が集い、若手歌手の支援を行うとともに、コンクールのレベルの高さを広く伝えることができた。

・「ジャック・ランズロ国際クラリネット・コンクール Japan」次回開催について

天沼業務部長が報告。

前回のコンクールが成功裏に終わったことを受け、主催である実行委員会から正式に次回開催に係る打診があった。理事長の内諾を受けており、横須賀市の協力も得られたため、開催に向けた調整を図っていききたい旨報告。

以上をもって、議事全部の審議及び報告が終了したので、13時50分、議長が閉会を宣し解散した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、出席した代表理事及び監事が記名押印する。

平成27年6月23日

公益財団法人横須賀芸術文化財団

議長

代表理事（理事長）

小 沢 一 彦

(代表者印)

代表理事（副理事長）

木 村 忠 昭

印

監 事

伊 藤 智 則

印

監 事

山 寄 進 康

印